

①【青山幼稚園】 2025年度幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に基づく自己評価集計表

未満児の保育

5	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の言葉がけがいかに大切なことか改めて理解し、遊びの楽しさを広げられるよう努めることができた。 ・見立て遊びをする中で表現が豊かになるような援助をすることができていた。 ・自我が芽生えてくるこの時期、言葉で伝えることが難しい場合、保育者が援助し、主体性を尊重し対応している。思いが通らない時には気持ちを受け止め安定して遊べるような環境作りを行い、情緒の安定に努めることができていた。
---	--

以上児の教育・保育

3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力が育つよう、音楽に合わせて歌、ダンスをしたり、ルール遊びや、絵を描き、形・色などから表現力を身に付け、楽しさ、喜びを十分味わえる努めることができた。 ・集団生活の中、人との関わりを保育者が仲立ちし、相手にわかる言葉で伝えることができるようになってきている。 ・自然にたくさん触れ、自然を感じ取れる体験をすることができていた。
-----	--

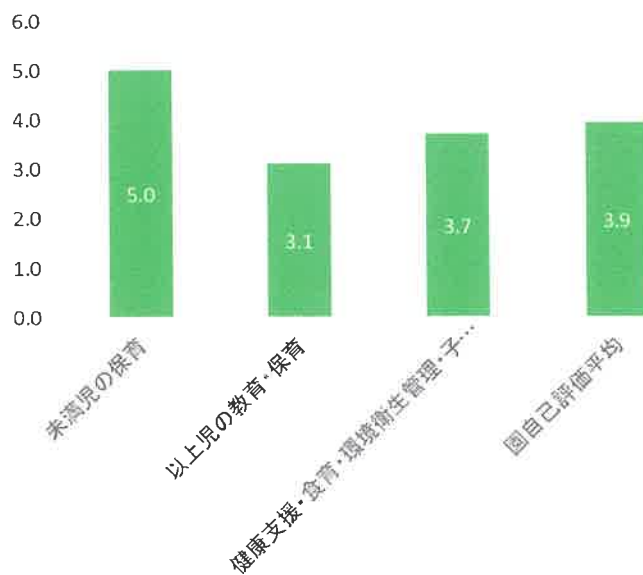
健康支援・食育・安全衛生・子育て支援・職員の資質向上

3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の人々と子育ての喜びを分かち合い、子育てに関する悩み・知恵などを情報交換し、親子同志心地よく過ごせるよう努めることができていた。 ・避難経路の確認、ロッカー・棚等の転倒防止や、落下物防止の点検を行い、安全環境の整備に努めることができていた。 ・食育計画を立て、その児に合った食事を提供することで、食べることを楽しめることができるようになってきている。 ・安全で安心して食事を摂取できるよう給食現場職員と連携し、安全性と衛生に配慮することができていた。
-----	---

データ表

内容	平均	項目数
未満児の保育	5.0	10
以上児の教育・保育	3.1	10
健康支援・食育・環境衛生管理・子育て支援他	3.7	6
園自己評価平均	3.9	26

自己評価平均



②【施設名：遠野聖光こども園】2025年度幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に基づく自己評価集計表

未満児の保育

3.7 未満児の子ども達は丁寧な個別の対応が必要である。「三つ子の魂百まで」ということわざもあるように、子ども達1人ひとりに寄り添った保育が性格や気質を育てる大切な時期です。時々最近の保護者の方々とのコミュニケーションを図るのが難しいと感じているところもあるため、分かりやすく伝えたり、工夫をして信頼関係を築いていた。また、アレルギー児が多いため毎日徹底した配慮もできていました。これからも複数担任ならではのメリットを活かしてより良い保育に繋がることを期待している。

以上児の教育・保育

3.1 今年度は今まで以上に子ども達の興味や思いに寄り添い、今したいことを出来るだけ実現できるような時間や場所の確保をし、保育者が自分の得意な分野を活かしながら分散して保育に努めることで、遊びのバリエーションが広がったと感じた。そのため、異年齢保育の時間も多くなり、互いに刺激となり、子ども達が伸び伸びと過ごすことができていた。

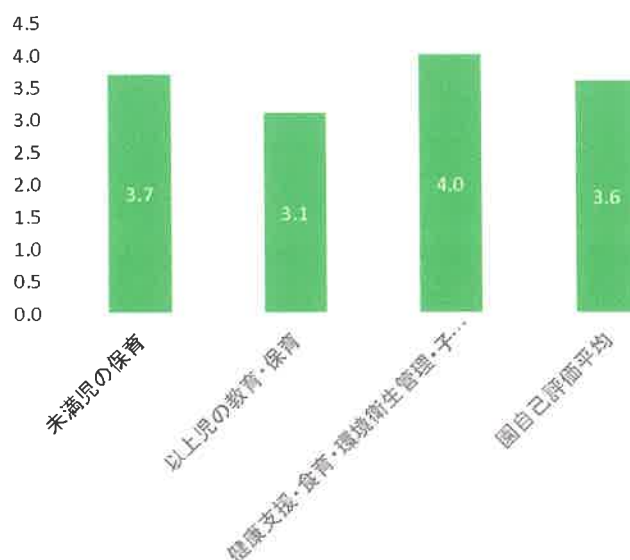
健康支援・食育・安全衛生・子育て支援・職員の資質向上

4 虐待の園内研修をすることが出来た。しかし、他の研修についても学んだことを実践に活かすことができるように保育を心がけていきたい。自園給食になり、味も良くなったことで子ども達も美味しく食べることが出来ている。食育をすることで子ども達も食材に興味を持つことが出来ているので続けていく。衛生環境にも目を配りしっかりと整えていきたいと思う。今後も子ども達の安全を第一に考え丁寧に保育できるように職員に働きかけていく。

データ表

内容	平均	項目数
未満児の保育	3.7	10
以上児の教育・保育	3.1	10
健康支援・食育・環境衛生管理・子育て支援他	4.0	6
園自己評価平均	3.6	26

遠野聖光こども園自己評価平均



③【施設名 ひかりの子】2025年度幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に基づく自己評価集計表

未満児の保育

4.2	<p>安心して一日の生活リズムが整うよう過ごしてきた。運動機能の発達を促す事を年度当初に目標とし各クラス運動遊びに力を入れてきた。また五感をたくさん感じられる保育が出来た一方で、月齢差が大きい未満児の一人ひとりにあった保育ができたとは言い切れない。一人ひとり発達にあった保育ができるようクラスをグループに分けたり、隣のクラスと連携を図ったりしながら改善をしていく。子どもが思った事、考えた事、経験した事を安心して表現できる環境作りを継続して考えていきたい。保育の質が更にも上がるよう子どもが「やってみたい」という環境作りを意識し高めていきたい。総合的に五領域を意識しながら保育が進められてきた、さらに質の高い保育を目指し、日々の振り返り、学びを大切に先生方と考えを出し合いながら保育を作り上げていきたい。</p>
-----	--

以上児の教育・保育

4.8	<p>子どもの年齢、興味関心、5領域を意識してクラスのカリキュラムやコーナー保育を計画し、環境を丁寧に整えていくように保育してきたことから高い評価に繋がった。また、クラス間でそれぞれの保育者の素材研究やより子どもの興味を高められるように遊びを提供したことでより遊びが活発になり豊かな経験へと繋がった。園生活の中で見通しをもって行動することができるように、段階を踏まえて保育してきたが配慮が必要な子に対して見通しをもてるように視覚材料を用いて行いより一人ひとりにあった保育を目指したい。また、子どもたちは保育者からの挨拶に気持ちよく交わすが、自ら行う姿が少なく感じた。保育者からより親しみをもち挨拶を丁寧に交わすことを意識して子どもと接して挨拶や言葉のやりとりが増えるよう関わっていくことを意識していきたい。コーナー保育を行う中で、子どもが主体的に遊びを選択して楽しめる環境に対して、子ども自身がマンネリ化しないように子どもと一緒に環境作りをしていくことを今後も大切にしていきたい。また、遊び込める環境として、続きの製作が置けるコーナーを設置して継続的に楽しめるように工夫していくようすすめていきたい。</p>
-----	--

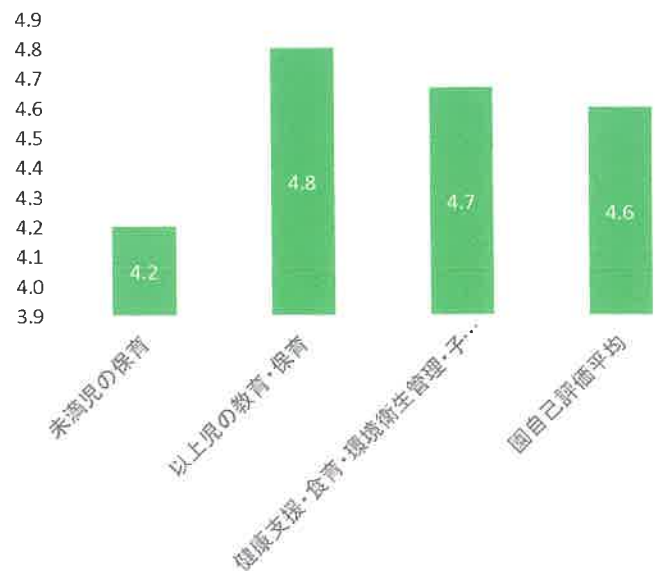
健康支援・食育・安全衛生・子育て支援・職員の資質向上

4.7	<p>食育計画が年間保育計画に盛り込まれ、時期に応じた活動がなされている。興味・関心に応じてやりたいこと（ケーキ作り等）を計画し実行できたことは良かった。暑い気温の中で遊び方は工夫してきたが、さらに時代に合わせた遊び方を探り安全に努めていきたい。災害の備えとして、アレクギー児分も含めた二日分の非常食を準備したり、園内・園庭と安全対策のチェックが定期的に行ったりと、安心して過ごせるよう努めている。歌の交わりや茶道体験、腹話術など地域の方をお招きして交わりや体験を行った。子育て支援カフェを利用されることで、園をよく知っていただき、保護者の話しを聞いたり情報交流の場となったり、入園にも繋がっている。自ら研修を選び学んだことを会議で紹介したり、少しずつ取り入れて活かしたりする姿も見られ専門性の向上に繋がっている。</p>
-----	---

データ表

内容	平均	項目数
未満児の保育	4.2	10
以上児の教育・保育	4.8	10
健康支援・食育・環境衛生管理・子育て支援他	4.7	6
園自己評価平均	4.6	26

ひかりの子自己評価平均



④【施設名：のぞみこども園】2025年度幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に基づく自己評価集計

未満児の保育

- 4.2
- ・今年度、未満時は少人数で過ごす期間が長く、ゆったりとした空間で子どもたち一人ひとりと向き合って過ごすことができたと思う。各年齢に沿った保育を職員が心がけ、また月齢差が顕著に現れる時期でもあり、時には悩むこともあったが、担任同士で協力し合い、工夫した保育に務めた。
 - ・熊の影響もあり、園外に出る活動が限られていたので、お散歩や自然に触れる機会が少なくなりましたが、保育室やテラスで葉っぱや雪などを保育教諭が準備して、できる範囲で子どもたち、触れ合う機会を設けることができた。
 - ・保育教諭と子どもとの間に信頼関係があり、どの子も安心して過ごしている姿が見られた。また、保護者の方とも連絡帳や送迎時に声をかけて、日々の出来事を共有することで、信頼関係も築けていると感じる。

以上児の教育・保育

- 3.4
- ・様々な課題はあるものの、自分たちが置かれた物的・人的環境の中で工夫しながら、子どもたちが様々な体験ができるよう保育に努めることができた。今年度は園庭の花壇の改造に取り組み、自分たちの力で既存の環境を変えていくことができることを経験したので、置かれた環境や園の慣習（生活の流れ等）を当たり前ものと思わずに、子どもが主体的に過ごすことができるようにするために改善すべき部分はないか、立ち止まって考えながら保育に当たっていききたい。
 - ・自分の思いを伝えることはできるが、相手の話を聞くことには少し課題があるようだ。“自分の話を聞いてほしい”“伝えたい”気持ちがあふれているように感じるので、日頃から小さなことでも一人一人の思いを保育者が丁寧に受け止め、安心感を持てるようにすることで、徐々に外側にも意識を向けられるように関わっていききたい。

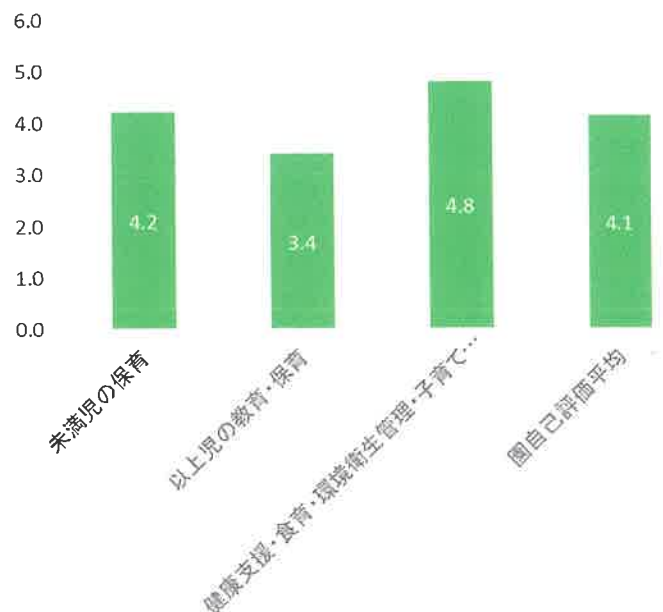
健康支援・食育・安全衛生・子育て支援・職員の資質向上

- 4.8
- ・様々な課題はあるものの、自分たちが置かれた物的・人的環境の中で工夫しながら、子どもたちが様々な体験ができるよう保育に努めることができた。今年度は園庭の花壇の改造に取り組み、自分たちの力で既存の環境を変えていくことができることを経験したので、置かれた環境や園の慣習（生活の流れ等）を当たり前ものと思わずに、子どもが主体的に過ごすことができるようにするために改善すべき部分はないか、立ち止まって考えながら保育に当たっていききたい。
 - ・自分の思いを伝えることはできるが、相手の話を聞くことには少し課題があるようだ。“自分の話を聞いてほしい”“伝えたい”気持ちがあふれているように感じるので、日頃から小さなことでも一人一人の思いを保育者が丁寧に受け止め、安心感を持てるようにすることで、徐々に外側にも意識を向けられるように関わっていききたい。

データ表

内容	平均	項目数
未満児の保育	4.2	10
以上児の教育・保育	3.4	10
健康支援・食育・環境衛生管理・子育て支援他	4.8	6
園自己評価平均	4.1	26

のぞみこども園自己評価平均



⑤【施設名：宮古ひかり】 2025年度幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に基づく自己評価集計表

未満児の保育

- 4.1
- ・受容的・応答的な関わりを通して子ども一人ひとりとの愛着関係や信頼関係を築くことができた。子どもの思いを保育者が代弁していくことで他児への興味が出てきて関わりを持って遊ぶようになってきた。
 - ・子どもの興味関心、発達段階に合わせた玩具の準備、植物や生き物を飼育するなど室内の環境を考えて保育にあっていた。園外保育に出掛ける機会が少なかったので時期などを考慮して出掛けるようにしていきたい。
 - ・その日のクラスの様子を伝え合う時間を持つことにより未満児の情報共有ができた。

以上児の教育・保育

- 2.8
- ・園内研修を通して環境について話し合いを持つ機会を持つことで保育室の環境を見直すことができた。これからは園庭の環境も考えていきたい。
 - ・毎日外遊びをすることにより虫探や自然物での色水づくり泥団子づくりを通して季節の移り変わりや自然の不思議さに気づいてきた。猛暑やクマの出没で園外保育に出掛ける機会が減った。来年度は計画的に園外保育を取り入れていきたい。

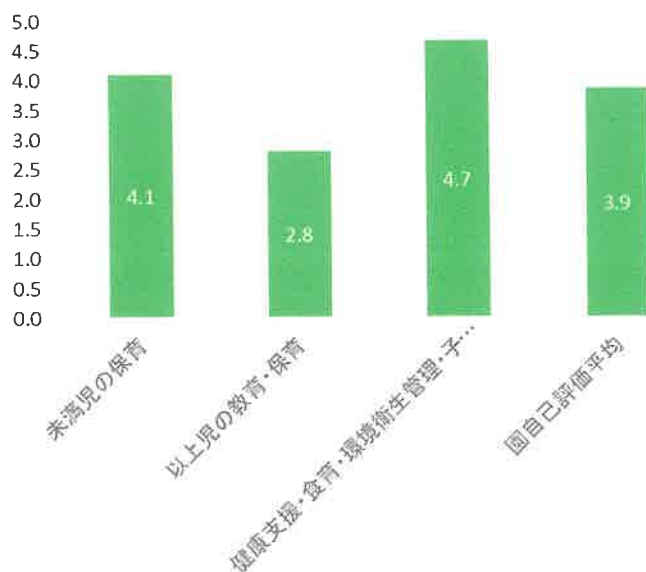
健康支援・食育・安全衛生・子育て支援・職員の資質向上

- 4.7
- ・園内研修を通して環境について話し合いを持つ機会を持つことで保育室の環境を見直すことができた。これからは園庭の環境も考えていきたい。
 - ・毎日外遊びをすることにより虫探や自然物での色水づくり泥団子づくりを通して季節の移り変わりや自然の不思議さに気づいてきた。猛暑やクマの出没で園外保育に出掛ける機会が減った。来年度は計画的に園外保育を取り入れていきたい。

データ表

内容	平均	項目数
未満児の保育	4.1	10
以上児の教育・保育	2.8	10
健康支援・食育・環境衛生管理・子育て支援他	4.7	6
園自己評価平均	3.9	26

宮古ひかり自己評価平均



未満児の保育

4.5 小規模園の特色を活かして一人一人に寄り添った安心して見守る保育がなされていると思う。
また、保育士はそれぞれ年齢にあった環境づくりの工夫をしていて豊かな育ちにつながっているようだ。少人数のため丁寧にその活動の展開を見守ることで子どもたちは創造性を膨らませているようだ。

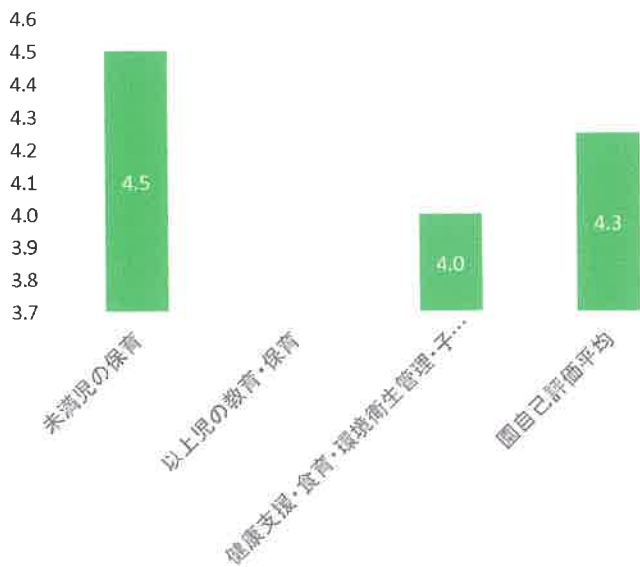
健康支援・食育・安全衛生・子育て支援・職員の資質向上

4 小規模保育園では子どもたちの変化に気づきやすく園全体での共有も虐待のこの発見にもつながった。食育計画も給食会議だけではなく職員会議などで取り上げ丁寧な取り組みができたと思う。環境衛生面は担当者が日々の消毒を丁寧に行って感染症対策も徹底できている。職員たちは子育て支援にも力を注ぐことができた。園外研修は小規模保育園の職員体制として余裕がなくオンライン研修のみとなった。連携施設からの応援を頂いて研修会に行かせたいと思う=IV_満3歳以上児!B31

データ表

内容	平均	項目数
未満児の保育	4.5	10
以上児の教育・保育		10
健康支援・食育・環境衛生管理・子育て支援他	4.0	6
園自己評価平均	4.3	26

上堂ホサナ保育園自己評価平均



未満児の保育

- 4.2
- ・私たち保育者の、言葉かけの影響力はとても大きいことを実感した。子ども達一人ひとりへの、発達をよく見極めていきながら、より丁寧な言葉かけを意識し、子ども自身の思いや育ちを大切にしながら遊びを引き出していく援助に努めていきたい。
 - ・子どもたちが身近な環境や素材に興味を持ち、主体的に遊びを広げていくことが出来たが、子どもの発達や興味に応じた環境構成を更に工夫していくことで、子ども同士の関りが豊かな経験に繋がっていくのではないかと感じた。今後の課題としていきたい。

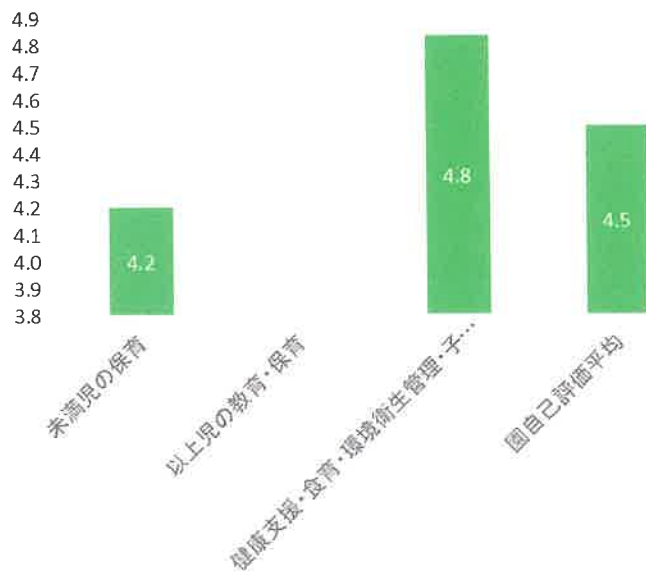
健康支援・食育・安全衛生・子育て支援・職員の資質向上

- 4.8
- ・少人数の家庭的な環境の中で、子ども一人ひとりの発達や体調の変化を丁寧に把握し、保護者と連携を図りながら体調管理・感染症の予防にも努めた。
 - ・子どもたちの育ちに合わせた食事の提供を食育係や家庭との連携で行うことが出来た、更に園庭での栽培などを通して食育に対する興味関心を深めていきたい。
 - ・地域の子育て支援や町との要保護を必要とする家庭の保護者支援は、ひかりの子・町との連携を持ち、情報を共有していくことで、具体的な活動や援助に繋げていくことが出来たので、今後も横の繋がりを深めていきながら、子ども・保護者・園のためとなるよう、保育の資の向上に努めていきたい。

データ表

内容	平均	項目数
未満児の保育	4.2	10
以上児の教育・保育		
健康支援・食育・環境衛生管理・子育て支援他	4.8	6
園自己評価平均	4.5	16

アガベ保育園自己評価平均



⑧【施設名：ぶどうのき】2025年度幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に基づく自己評価集計表

未満児の保育

4	<p>家庭的保育のため、環境として職員と子どもの1体1対応が可能です。膝に座って何冊も絵本を読んでもらったり、一緒に遊具で遊んだりすることができます。年齢も様々なため、集団というより兄弟姉妹のような感じで過ごしています。1日の流れを0歳児でも予測し、おやつ、礼拝、お散歩等予測して行動しています。また、遊びの環境も興味がありそうな物を作ったり、用意したり、使っていない玩具は片付けたりと主体性を持って関わるような環境作りを心がけています。これからも子どもたちが、家庭にいるような感覚で安心して過ごせるように、また、子どもたちが尊重されて自信を持って毎日が楽しいと思えるような保育を心がけていきたいと思っています。</p>
---	--

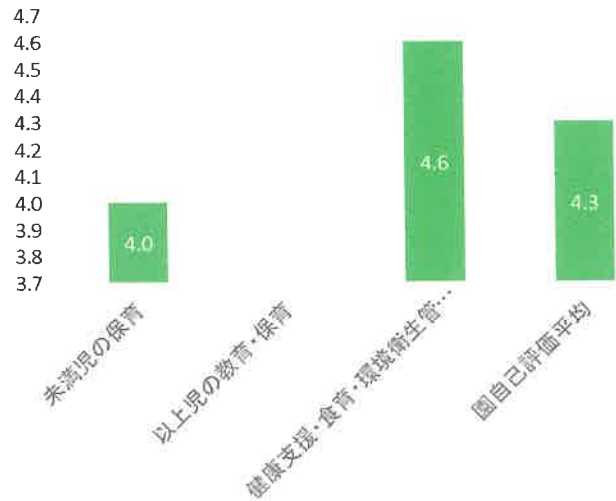
健康支援・食育・安全衛生・子育て支援・職員の資質向上

4.6	<p>改めて見直すことで、見直し等できた。これからも資質向上に努めていきたい。</p>
-----	---

データ表

内容	平均	項目数
未満児の保育	4.0	10
以上児の教育・保育		10
健康支援・食育・環境衛生管理・子育て支援他	4.6	6
園自己評価平均	4.3	26

ぶどうのき自己評価平均



未満児の保育

4.5	<p>・0歳クラスは、個々の生活リズムを大切にしながら保育を行い、1・2歳クラスは、少しずつ生活リズムを作りながらも、それぞれの家庭環境を把握し一人ひとりに寄り添った保育が行われていたと思う。個々で特性もあり、先生方も日々悩みながら保育を行う場面もあったとようだが、複数担任で連携をはかりながら良い保育がなされていたと思う。</p> <p>・熊騒動により散歩に出かける機会が減ってしまったが、園庭やホール、保育室を使いながら動的遊び、製作、指先を使った遊びなど、工夫しながら活動を行っていた。</p> <p>・保護者対応では、初めて保育園に預ける家庭も多く、子育ての悩みなど保育園で話しやすい環境づくりも大切に感じた。保護者にも寄り添いながら子育ての良き理解者・アドバイスができるような関係作りも大切にしていければと思う。</p>
-----	---

以上児の教育・保育

3	<p>・季節に合わせてながら、その時ならではの活動がよくなされていたと思う。後半は熊騒動により園外に出かけられなくなったことは残念だったが、園庭やホール、保育室を使いながら、子ども達が楽しめる環境づくりをしていた。駒回しは、クラスの枠を取り異年齢で教え合う姿もあり、とても良かったと思う。</p> <p>・クラス活動と異年齢で過ごす良さも理解しながら、来年度も進めていってほしい。</p> <p>・外国のお子さんも預かり、言葉の壁を感じることもあったが、子ども達が自然と受け入れて遊ぶ姿はとても嬉しかった。保護者対応では悩む場面もあったが、声かけを細やかにしながら進めてきた。来年度も園として考えていければと思う。</p>
---	---

健康支援・食育・安全衛生・子育て支援・職員の資質向上

3.6	<p>・季節に合わせてながら、その時ならではの活動がよくなされていたと思う。後半は熊騒動により園外に出かけられなくなったことは残念だったが、園庭やホール、保育室を使いながら、子ども達が楽しめる環境づくりをしていた。駒回しは、クラスの枠を取り異年齢で教え合う姿もあり、とても良かったと思う。</p> <p>・クラス活動と異年齢で過ごす良さも理解しながら、来年度も進めていってほしい。</p> <p>・外国のお子さんも預かり、言葉の壁を感じることもあったが、子ども達が自然と受け入れて遊ぶ姿はとても嬉しかった。保護者対応では悩む場面もあったが、声かけを細やかにしながら進めてきた。来年度も園として考えていければと思う。</p>
-----	---

データ表

内容	平均	項目数
未満児の保育	4.5	10
以上児の教育・保育	3.0	10
健康支援・食育・環境衛生管理・子育て支援他	3.6	6
園自己評価平均	3.7	26

きたくり保育園自己評価平均

